



くらすだより

富岡保育園
年少クラスだより
R3・3・17

昨日、子どもたちが持って帰ったクッキーのお味はどんなだったでしょうか？ 湛先生に可愛くラッピングしてもらい、「んーパパと、ママと・・・だれにあげようかな？」と嬉しそうに持って帰る子どもたちがとても可愛かったです。

今月は、年少さんは2回もクッキングを実施しました。3月2日のカレーライスを使った際に「おいしかったね。又しようね。今度は何作ろうか？」と子どもたちと話した際に「こんどは、クッキーつくろう!!」と言う声が上がりました。「わかった!でもね、クッキー作るのって難しいんだよ。それなら粘土で練習してから作ろうか」となり、粘土でクッキー作りが始まりました。綿棒のかわりにラップの芯を使って粘土を伸ばし、これが思ったより難しく、思うように粘土が平らになりません。しかし、何回も遊んでいくうちに要領が分かり、型抜きを使って上手にクッキーが作れるようになってきました。粘土で存分に遊んだ子どもたちに「明日は、クッキーを作ります!!」と伝えると「えっ!!本物のクッキー!やったー!」と大喜びでした。

そして、昨日の本番。本物のまな板、本物の綿棒を一人ずつもらい、クッキー作り開始。作り方は、粘土で心得ていたので、私たちの予想以上にスムーズに型を抜いていくのでびっくりでした。初め、大きなボールに入ったたくさんの生地を見た時は「こんなに作るんですか?無理でしょう」と思っていたのに、あっという間になくなってしまいました。子どもたちは、皆黙々と作り、その間、1時間が経過していましたが、誰一人として、席を立つ子はいませんでした。子どもたちが作っている間、私たちは一緒に作ったり見守ったりしましたが、子どもたちの様子をよく見ていると、型抜きの裏と表を考えて置いたり、伸ばした生地の中に型抜きをどう置けば、たくさんのクッキーが一度に作れるかななどをよく考えながら並べていることに気がきました。たかが、クッキーづくりではないんですね。子どもたちの遊びはすべて、学びなのだ実感したことでた。

早速、今日の連絡帳には、昨日のクッキーのお礼や感想をたくさん書いて下さっていました。ありがとうございました。いくつかご紹介します。

昨日はクッキーをうれしそうにもち帰り、じいちゃん、パパ、私、ゆうがに1つずつくれました。型も説明して「おいしー!」と言ってもらってとても嬉しそうでした。ゆうががクッキーにはまり、もっともっとと草太にせがんで草太が喜んでいました。「また家でも作ろうね」と話しました。ありがとうございました。

クッキーをありがとうございました。「はい、どーぞ!」とみんなに1個ずつ配ってくれました。うれしかったです。



粘土遊びの様子です



3/17富岡ビジターセンターに到着!!